



同社事務所



同社外観

私たちは、社会へのサービス業。 だからこそ、自らを高めなければ

仲田総業株式会社は、一般廃棄物収集運搬や産業廃棄物収集運搬・処理、総合ビルメンテナンス、機密文書出張細断処理サービス、一般貨物自動車運送事業など、幅広く社会を支える企業です。若くして会社を任せられ、事業を拡大して来た仲田俊夫社長に、同社の経営の要をうかがいました。

同

社の社是社訓について仲田社長は「これは実は、私の学んでいた大学の校訓を使わせていただいたのです」と言います。

「大学を出て数年で、父の設立したこの会社を任せられることになりました。もちろん仕事など何も分かりませんから、社員と一緒に汗をかきながら、一生懸命「どうしたらしっかりした会社になることができるだろうか」と考え続けました。私たちの仕事は、社会奉仕であり、地域社会に対するサービス業です。それをいちばんよく表している言葉だと考えて、使わせていただくことにしたのです」

社会貢献をするためには、誠意を持って働かなければいけない。仕事を通じて意識や見識を高め、社会人としても立派な人間でなければ、社会に奉仕することはできない。そして、一度決めたら最後までやり抜く気魄が、何より

も大切——そんな想いが、これらの言葉に込められています。

「先代も、ずっと「私たちの仕事はサービス業だ」と言っていました。ではサービスとは何か。相手がやって欲しいことをするのが、サービスののだと考えます。

であれば「この人は、何をすれば喜んでくださるだろうか」と考えることが（誠意）です。けれども、漫然と日々を送っているようでは、いくら誠意があっても「何をしたらいいか」という答えは出ません。毎日毎日勉強を積み重ねること、自らの（見識）を伸ばす必要があるのです」

とはいえ、若い社員も多い会社だけに、「頭ごなしに「やれ」と言うだけでは、なかなか動いてはく

れないでしょう。そこで仲田

社長は、「社員に話す時は、分かりやすい例を挙げたり、

持って回った言い方ではなく

単刀直入に言ったりと、工夫

しながら話しています。若

い頃、現場で汗をかいた経験

から「話をする時、相手の

目線で話すことが重要」と考え

ています。社員と経営者では意

識のあり方が違いますから、でき

るだけ社員目線での会話を心が

けています」

仲田社長は「社員がいて「その

会社」と、繰り返しておっしゃいます。

だからこそ、上に立つ人間が社員

目線を持ち、コミュニケーションを

図ることが、重要なのでしょうか。

同社では2010年度栃木県

経営品質賞のペーシックスアワード

社訓

誠意
真心を込めて

勤労
働くことを喜び

見識
常識の尺度を伸ばしながら

気魄
最後までやりぬく気持ち

Information

仲田総業株式会社
代表取締役 仲田 俊夫

創業 / 昭和43年
住所 /
本社 / 栃木県宇都宮市藤瀬町2520-4
☎ 028-635-2151 (代)
☎ 028-637-3930
http://www.nakada.tv



仲田総業株式会社
代表取締役 仲田俊夫氏

「今後の課題は、こうした（アンテナ）を社員一人ひとりに、どう根付かせ、伸ばして行くか。簡単ではありませんが、チャレンジしています」

を受賞しています。この賞は大変基準が厳しく、受賞するのはかなり難しいことで知られています。「こういう難しいことに挑戦すること、会社のレベルアップを図ることが重要だと思っています。一つには他社との差別化、また社内チャレンジ精神の醸成など、さまざまな効果があります」

自社の経営に何が必要か、自分の仕事にどんなことが求められるのか。それを敏感に感じ取る（アンテナ）が大切だと、仲田社長は言います。